

彼方小だより

児童数配布

富田林市立彼方小学校
令和8年春休み号



【彼方小 HP の QR コード】

「万葉の里 ～彼方～」

おちかたしょうがっこう こうちょう うえもと ひろし
彼方小学校 校長 上本 浩

きび さむ いちだんらく こうてい き き め ぶ すこ はる おとず かん きせつ
厳しい寒さもようやく一段落し、校庭の木々の芽吹きに少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。

さ りつ ば す だ そつぎょう
去る3月18日、30名の卒業生が、この彼方小学校から立派に巣立っていきました。卒業した子どもたちは、この6年間の生活の中で多くのことを経験し、心身ともに逞しく成長しました。その歩みは、ご家族、友達、先生、そして地域の方々という、本当に多くの方々の支えがあったからこそです。

そで あ たしょう えん ことば とお ひび ちい て あ えん
「袖すり合うも他生の縁」という言葉の通り、日々の小さな出会いもまた、かけがえのない縁によるものです。新しい世界へ羽ばたく皆さんには、常に感謝の心を忘れず、周囲への思いやりを大切にできる人であってほしいと願っています。

まんよう むかし ねん まえ おちかた ち よ いっしゅ
万葉の昔（1300年ぐらい前）、この「彼方」の地を詠んだ一首があります。

「おちかた あかづ こや こさめ ぶ ゆか ぬ み そゑ わぎも まんようしゅう だい かん ばん
「彼方の赤土の小屋に 小雨降り 床さへ濡れぬ 身に添へ我妹」（万葉集 第11巻 2683番）

おちかた あかつち こや こさめ ぶ ゆか ぬ ひと わたし
（彼方の赤土の小屋に小雨がしとしと降り、床まで濡れていく。いとしい人よ、どうぞ私のそばへ寄り添ってください）この切実で優しい愛の歌は、今もなお、この地に暮らす私たちの胸に懐かしく寄り添ってくれるように感じられます。

いしかわ せいりゅう さと うるお ゆた たはた きじ こえ ひび まんよう しぜん いま つた けしき なか
石川の清流が里を潤し、豊かな田畑に雉の音が響く。そんな万葉の自然を今に伝える景色の中で、毎朝子どもたちを快く送り出してくださる保護者の皆様、そして「見守り隊」の皆様の温かな眼差しは、まさに歌にあるような「寄り添うぬくもり」そのものです。学校と地域に広がるこの優しさに、改めて深い感謝の念を抱かずにはられません。

あら すた と お まんよう じだい う つ ち ゆた しぜん にん ところ
新たなスタートに向けて万葉の時代から受け継がれてきた、この地の豊かな自然と人の心。その伝統に支えられ、子どもたちは彼方の里に根ざしながら、未来へと羽ばたいていきます。

こんねんど いちねんかん ぶ じ きょういくかつどう お ほごしゃ ちいき みなさま りかい
今年度も一年間、無事に教育活動を終えられましたのは、保護者・地域の皆様のご理解とご協力があったからこそです。心より感謝申し上げます。

れいわ ねんど がつ おちかたしょうがっこう あら げんき あか ひ つづ
令和8年度の4月、彼方小学校が、また新たに元気に明るくスタートできるよう、引き続き、子どもたちに寄り添い温かい応援をよろしくお願いいたします。